

新年のご挨拶

代表社員から

あけましておめでとうございます。

気候変動やSDGs（持続可能な開発目標）などの耳新しい言葉を頻繁に聴くようになってきました。今や、時代のキーワードは「持続可能性」です。

小田原という、地域資源の宝庫と言っても過言ではない素晴らしい場の可能性を活かして、自らが暮らし商う場としてのまちを、より暮らしやすく、より商いがしやすくするという夢ある仕事を担うために、多くの志のある方々（志民）が集まってくつたまちづくり会社が「まち元気小田原」です。

「まち元気」は、持続可能なまちづくりを通じて、地域を元気にしていく役割を担っています。今年も、その原点に立ち戻って、既存の事業のブラッシュアップと並行して、目線を変えて新しい発想の事業にチ

ヤレンジしてまいります。社員の皆さまにはぜひ、関心を持って、積極的に関わっていただけるようお願い申し上げます。この一年が皆様にとつて実り多き年になりますことを祈りつつ、「まち元気」飛躍のステップになるように取り組んでいく決意を述べ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

代表社員 鈴木 悌介

：なりわい交流館便り：

●第95回東京箱根間往復大学駅伝競走



本年も2日～3日にわたり、新年の風物詩「箱根駅伝」（主催・関東学生陸上競技連盟／共催・読売新聞社／特別後援・日本テレビ放送網株式会社／後援・報知新聞社）が日本中から注目されながら開催されました。

小田原宿なりわい交流館（本町3-1-6）

23）では、観光客の皆様に桜茶（無料）のご提供のほか、館内で箱根駅伝の放送を皆様で見られるような空間作りを心がけました。また、城西大学や拓殖大学など出場大学の皆様が応援の拠点のひとつとしてご利用され、新春の小田原にしか出来ないヒトトキを皆様と共有できました。

なお、この桜茶。毎年1～3日の期間のみの提供となります。

本年も皆様のお休み処として、また、小田原らしい企画をご提供する空間として、なりわい交流館をどうぞよろしくお願い申し上げます。

